

2025 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ジャパンディスプレイ
代 表 者 名 代表執行役社長 CEO 明間 純
(コード番号 6740 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員 CFO 平林 健
(TEL. 03-6732-8100)

営業外収益、営業外費用、特別利益及び特別損失の計上のお知らせ

2026 年 3 月期第 2 四半期会計期間（以下「当第 2 四半期」といいます。）において、営業外収益（為替差益及び原材料売却益）、営業外費用（支払利息）、特別利益（関係会社株式売却益、退職給付制度終了益及び新株予約権戻入益）並びに特別損失（減損損失及び事業構造改善費用）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 営業外収益の計上

為替相場の変動により、当第 2 四半期連結決算において、為替差益 167 百万円を営業外収益に計上いたしました。当中間会計期間（以下「当中間期」といいます。）連結決算では、第 1 四半期連結会計期間で計上した為替差損との差し引きにより、830 百万円の為替差損となりました。本為替差損益は、当社グループが保有する外貨建債権債務の決済及び期末為替レートによる換算替えで発生したものです。

また、茂原工場の生産終了により不要となった原材料を処分したことに伴い、当第 2 四半期個別決算及び連結決算において原材料売却益 224 百万円を営業外収益に計上いたしました。これにより、当中間期個別決算及び連結決算における原材料売却益の累計はそれぞれ 246 百万円となりました。

2. 営業外費用の計上

短期借入金等の利息として、当第 2 四半期連結決算において、2,046 百万円の支払利息を営業外費用に計上いたしました。これにより、当中間期連結決算における支払利息の累計は 3,919 百万円となりました。

3. 特別利益の計上

2025 年 7 月 30 日付で、当社及び当社子会社が保有していた知的財産権の一部を現物出資して新たに設立した当社子会社の株式全てを、いちごトラストの子会社へ譲渡完了いたしました。これにより、当第 2 四半期個別決算において 18,790 百万円、連結決算において 18,533 百万円の関係会社株式売却益をそれぞれ特別利益に計上いたしました。

また、希望退職者の募集に対する応募者の確定に伴い退職金支払額を算定した結果、退職給付に係る資産の積立額が支払見込額を上回ることが確認されました。当該超過分を、当第 2 四半期個別決算及び連結決算において、2,752 百万円の退職給付制度終了益として特別利益に計上いたしました。

さらに、当第 2 四半期個別決算及び連結決算において、新株予約権戻入益 206 百万円を特別利益に計上いたしました。これは、2025 年 7 月 15 日付でいちごトラストに対する第 14 回新株予約権の割当条件として、第 13 回新株予約権の放棄が行われたこと、また、権利行使期間の満了により第 9 回新株予約権（ストックオプション）が失効したことによるものです。これらにより、当中間期個別決算及び連結決算における新株予約権戻入益の累計はそれぞれ 234 百万円となりました。

4. 特別損失の計上

ディスプレイ事業の資産の一部について、当面の収益性を評価した結果、当第 2 四半期個別決算において 118 百万円、連結決算において 168 百万円の減損損失をそれぞれ特別損失に計上いたしました。これにより、当中間期における減損損失は、個別決算において 483 百万円、連結決算において 539 百万円となりました。

また、希望退職者の募集に伴う退職加算金等の引当、及び当社茂原工場の 2025 年内での生産終了に伴い追加で発生が見込まれる費用等により、当第 2 四半期個別決算において 4,970 百万円、連結決算において 5,070 百万円の事業構造改善費用をそれぞれ特別損失に計上いたしました。これにより、当中間期における事業構造改善費用は、個別決算において 12,576 百万円、連結決算において 12,692 百万円となりました。

5. 業績に与える影響

上記の内容につきましては、本日公表の「2026 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上